

## 1. ササユリの産品化および利用技術研究会

去る6月6日、暖地園芸センターにおいて研究会を開催し、県下の市町村、JA、農業改良普及センターおよびササユリに関心を持つ生産者等80人に出席していただきました。

研究会では、暖地園芸センターから今まで取り組んできたササユリ研究の成果として、「自生地の現状と開花生態」および「産品化技術」を紹介しました。さらに、これらの成果の活用事例としてバイオセンター中津での切り花産品化への取り組みおよび野上町から自生地保護、復元への取り組みについて紹介していただきました。

また、現地検討会として、日高郡中津村のバイオセンター中津および栽培試験地を見学し、意見交換を行いました。

今後、ササユリを「ふるさとの花き」として産品化を図り、観光資源として自生地の復元を目指すためには地域が一体となった取り組みが望まれます。

今回の研究会を契機に、こうした取り組みがより一層広まり、一つでも参考になれば幸いです。  
(育種部 宮本 芳城)

## 2. バラの品種に関する研究会

去る平成12年12月8日、当センター園芸技術研修館で「バラの品種に関する研究会」を開催し、生産者、関係機関から45名の出席をいただきました。

中屋所長の開会挨拶に続いて、「バラ切り花の品種動向」、「バラ品種比較試験の成果」、「バラ育種の現状と手法」について話題提供がありました。また、日本ばら切花協会和歌山支部から「生産者の手でオリジナル品種を！」というテーマで同支部の新品種育成へ向けた取り組みについて紹介していただきました。その後、バラ32品種の栽培試験を行っているガラス温室で実際の生育、開花状況を見ながら意見を交換しました。

総合討議では、話題提供に対する質疑応答のほか、販売面から見た品種動向、各地域の栽培品種の現状について報告がなされるなど活発な情報交換が行われました。

本研究会がバラ生産者の経営改善、さらには産地振興の一助となれば幸いです。

(園芸部 伊藤 吉成)

